

平成生まれが生きる令和の街

佐久間洋司（人工知能研究会 / AIR 代表）

スーパーシティ スマートシティフォーラム2019
～スーパーシティに係る国内外の最新動向と今後の展望～
テーマ別セッション：大阪の考えるスーパーシティ
令和元年6月29日（土）

メディアプロフィール

<http://qcreators.jp/qcreator/sakumahirosi>



QV 認知科学者

佐久間洋司

機械は人を優しくできるか？

人類のハーモニーを目指す若き研究者

認知科学者

佐久間洋司

1996年東京都生まれ。

2015年に東京都立小石川中等教育学校を卒業後、大阪大学へ進学。大学1年次から知能ロボット学研究室の研究生として石黒浩教授の指導を受け、人工知能やバーチャルリアリティを用いて人間の意識を理解する研究に取り組む。人を優しくする技術を通じて、争いのない世界に貢献することを目指している。2015年12月には次世代を担う学生自ら人工知能研究・応用を促進することを目指し「人工知能研究会 / AIR」を設立。日本最大級のAIコミュニティに成長させる。

深層学習の発祥の地であるカナダ・トロント大学で約1年間の交換留学を経験し、Panasonic Silicon Valley Lab で半年間のインターンにも従事。人工知能学会誌の学生編集委員長を務めるほか、世界経済フォーラム（ダボス会議）が認定する

『Global Shapers』にも選出される。『大阪大学課外活動総長賞（阪大総長賞）特別賞』、『トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 留学成果報告会 優秀賞』ほか受賞多数。孫正義育英財団 第2期生。

人工知能や留学、教育についての講演なども多数行う。

ダグラス・アダムスの引用

生まれてから15歳までの間に
出会った技術やデザインは
「自然の一部」のように感じる

15歳から35歳までの間に
生まれた技術は革命的に感じ
ぜひとも獲得したいと思う

0歳

1996年
for me

15歳

2011年

23歳

2019年

35歳

2031年

35歳を過ぎると新技術は
「自然の理に反している」
ように感じられる

平成の時代はインターネットの普及に
始まり深層学習にまで到達した。

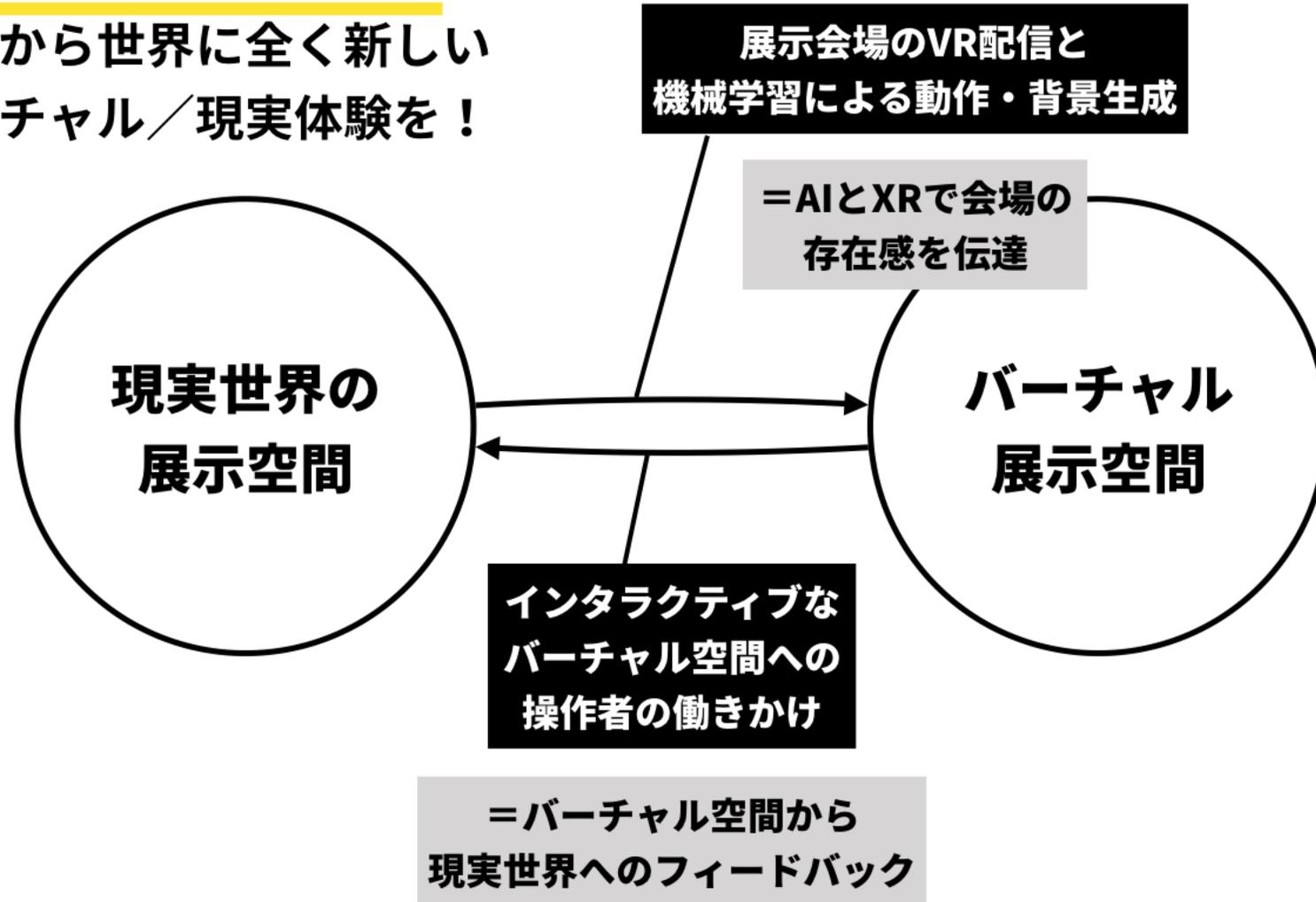
私たちは令和の時代を正しく見据える
ことができているのだろうか？

再掲：平成世代から見たVRのトレンド感覚

もしも万博でXRをやるなら？

(単なるVR配信では時代遅れ)

日本から世界に全く新しい
バーチャル／現実体験を！



スーパーシティを活用して、 大阪が取り組むべき課題解決

1 簡単に健康状態を計測し、無理なく継続できる方法で健康維持・疾病予防

2  最適な在宅医療・日常の疾病管理、安心な救急対応 利便性の高い医療

3  効率的で機能改善効果も期待できる介護

4 誰にとってもストレスフリーで、積極的な生活を支える交通

5 誰にとっても便利で、使いたくなる金融システム

6 オンライン教育による人材育成 実践教育で行政データを活用

Wellness-Centric Inclusive and Vibrant City

少子高齢化が進んでも、誰もが心身ともに健康で思いのままに活動的な生活ができ、市民、訪日外国人共にストレスなく快適で、好みに応じた楽しみを享受できるまち。

令和のスーパーシティへ

- バイアスのない有用なデータが、身近なデバイスや街から集められて活用される
- 不透明な機械学習や、バイオヘルスを評価する手法、あるいは担保する制度が生まれる
- 真の意味での「バーチャル（実質的な）」リアリティと街の融合が進む

佐久間洋司

人工知能研究会 / AIR 代表

人工知能学会誌 学生編集委員長

世界経済フォーラム Global Shapers

孫正義育英財団 第2期生

E-mail: info@hiroshi-skm.com

Website: <https://hiroshi-skm.com/>